参考２

札幌市公文書管理審議会規則

平成２４年７月６日

規則第４５号

（趣旨）

第１条　この規則は、札幌市公文書管理条例（平成２４年条例第３１号）第３８条の規定に基づき、札幌市公文書管理審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第２条　審議会に会長及び副会長各１人を置き、委員の互選によりこれを定める。

２　会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

４　会長及び副会長共に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第３条　審議会の会議は、会長が招集する。

２　会長は、審議会の会議の議長となる。

３　審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

４　審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会）

第４条　部会に部会長を置き、会長がこれを指名する。

２　部会長は、部会を代表し、部会の事務を統括する。

３　部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長の指名する委員がその職務を代理する。

４　前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、同条第３項中「過半数」とあるのは、「過半数（委員３人をもって構成する部会にあっては、全員）」と読み替えるものとする。

（庶務）

第５条　審議会の庶務は、総務局において行う。

（委任）

第６条　この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附　則

この規則は、平成２４年７月１７日から施行する。